

情報を先取り、タブーに挑戦

財界タッポス

特集 春の人事〆波乱の予感、 JAグループ役員改選、 混迷する中央会会長のイス ほか 2023年 5月号

交通コンサルタント(阿部等氏)がボールパーク新駅を考察
工費20億円、2025年に完成、現駅アクセスも改善できる!

観光活性化対談 山北栄二郎 JTB社長 × 小金澤健司 北海道観光振興機構会長
大成建設〆施工不良、ショック〆イケイケドンドン、のツケを被る建設業者
どうなってんの紋別市 ズコーシャ 疑惑入札の始末の付け方 ほか
【就活特集】将来性〇、育成力に定評、若手が活躍etc. 我が子が成長できる会社

特集・全39ページ

名門、企業トリビア、地元タブー、ナイトライフ…
旭川 函館 帯広 釧路 北見 小樽
地方6都市のトリセツ
●北海道で活躍する道外20大学〆同窓生名鑑〆



古いアパートもチャンス。満室の好機を逃さない

マサル不動産 札幌市北区北34条西3丁目 マサルビル1階
☎011・717・5550 <https://www.masaru34.com/>



古い物件も満室へと導く

「どこにでもある」古いアパートを数多く管理する「マサル不動産」。

菊地勝裕社長は「物価高騰で家賃を見直す人が徐々に増えており、古い物件も満室にできるチャンスです。『古い』『リフォーム費用がない』と諦める必要は一切ありません」と断言する。

入居率50%以下で管理を託された物件も独自の空室対策で満室物件に導くなど、これまで蓄積してきた入居者募集のノウハウをもとに、最小限の費用で最大限の効

果をもたらすリレーシング術を提案している。

「現況満室」という状況は売却時にも有利となる。

「入居率によって数百万円単位で売却額が変わるケースもあります。売却前に満室にしてみませんか」と菊地社長は呼びかける。

オーナーの「心変わり」にも理解を示す。

「満室になれば毎月の家賃収入はぐんと上がりますから、もう少し持っておこうと思うのはごく自然のこと。当社はオーナーの気持ちを尊重し、無理な提案はしません。管理や売却、建て替え、新築企画など何でもお任せください」と菊地社長。



「普通のアパート、でも満室経営を継続中」